

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年4月12日（水）
- 2 確認箇所
F1タンクエリア
- 3 確認項目
5/6号機滞留水処理設備N5タンク水位上昇事象の対応状況

4 確認結果の概要

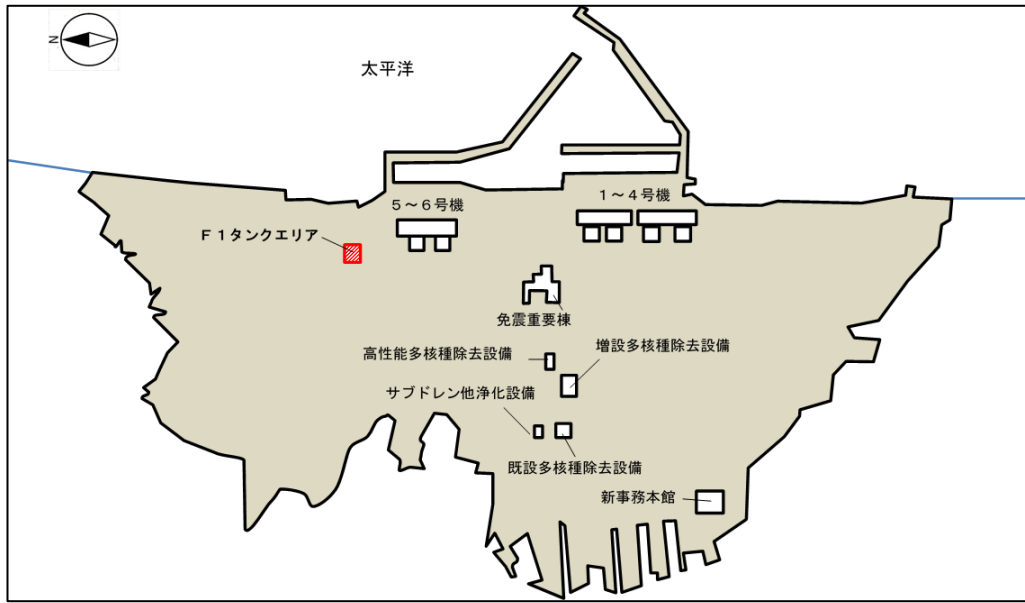
構内北側に位置するF1タンクエリアに設置されている5/6号機滞留水処理設備では、5/6号機建屋周辺の地下水が建屋内に流入した水（以下「滞留水」という。）の貯留、浄化処理が行われており、浄化された滞留水は放射能分析を経て、散水基準を満たしていることを確認した後に構内において散水されている。

令和3年11月25日、浄化処理された水を散水していたN5タンクの水位が前日の散水後よりも50mm程度上昇していることが確認され、11月24日の散水時に放射能分析が実施されていないN2タンクの内包水がN5タンクに流入し、未分析の水が散水された可能性があることが確認された。

東京電力ではN2タンクとN5タンクを連結する弁の一時的なシートパスが原因と推定し、タンクを連結する弁を二重化する対策を実施することとしたことから、実施状況の確認を行った。（図1）（写真1）

（前回確認：令和4年6月29日）

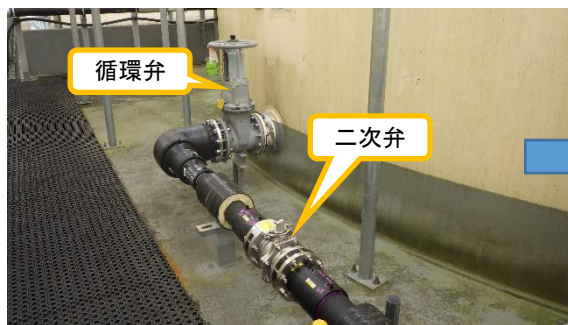
- ・N2タンクとN5タンクを連結するそれぞれの循環弁及び出口弁の下流側に二次弁が設置されており、前回確認時には設置されていなかった保温材の設置が完了していることを確認した。（写真2）



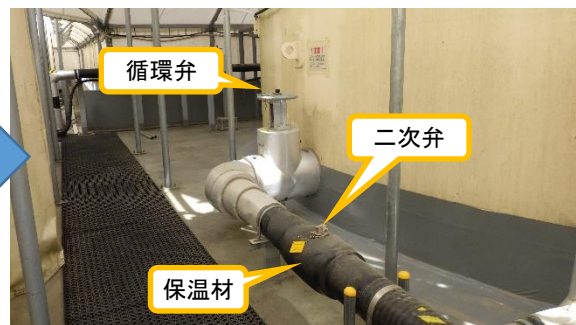
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



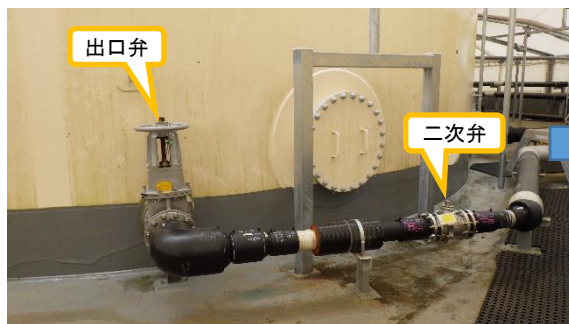
(写真1)
F1タンクエリア概観①
(南西側から撮影)



(写真2-1)
(令和4年6月29日撮影)
N5タンク循環弁
保温材未設置



(写真2-1)
(令和5年4月12日撮影)
N5タンク循環弁
保温材設置済



(写真 2-2)
(令和 4 年 6 月 29 日撮影)
N2 タンク 出口弁
保温材未設置



(写真 2-2)
(令和 5 年 4 月 12 日撮影)
N2 タンク 出口弁
保温材設置済

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。